

平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成17年7月現在)を抜粋

機 関 名	九州大学	整理番号	c013
1. 申請分野(系)	医療系		
2. 教育プログラムの名称	歯学国際リーダーの養成プログラム		
3. 関連研究分野(分科) (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) 歯学		
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) (保存治療系歯学、補綴理工系歯学、外科系歯学、形態系基礎歯科学、機能系基礎歯科学)		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ([]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名) 歯学府・歯学専攻[博士課程(一貫制)]	研究科長(取組代表者)の氏名 赤峰 昭文	
	(その他関連する研究科・専攻名)		
5. 本事業の全体像			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
<p>大学全体としては本教育プログラムに関して個別の支援・措置は計画されていない。しかし、九州大学は教育目的を、「<u>日本の様々な分野において指導的な役割を果たし、アジアをはじめ広く全世界で活躍する人材を輩出し、日本及び世界の発展に貢献することを目的とする。</u>」と教育憲章において規定しており、<リーダーの育成>が九州大学の使命の一つである。したがって、すでに全学的なリーダー育成策が措置されている。例えば、外国人教授の雇用、大学としての任期制・公募制導入の推進、学内の競争的研究資金制度などである。また、国際的なリーダーを育成するためには語学教育の重点化が必須であるとの判断から授業料増収分の一部を語学教育に特化した形で執行している。したがって本教育プログラムは九州大学において新しい大学のあり方を惹起するものではなく、九州大学建学の目的の一つである<リーダー育成>を飛躍的に増進させるイニシアティブプログラムであると位置づけられる。</p> <p>なお、本教育プログラムは九州大学の教育憲章に一致したものであるため、大学として本教育プログラムへの応募推奨や、専門委員会における予備審査などの支援は当然おこなっている。</p>			

機 関 名	九州大学	整理番号	c013
<p>5-(2) これまでの教育研究活動の状況(現在まで行ってきた教育取組について)</p> <p><歯学リーダーの育成>のためには最先端の歯学知識の広範な習得、独創的な研究の展開だけでは不十分であると九州大学歯学府(九大における大学院の名称)では考えており、競争的な環境と国際性を習得させるために下記に例示した取組を行ってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人教授の採用 毎年3～6ヶ月程度、口腔生体応答学分野に外国人教授分野を雇用し、英語による講義および討議を行ってきた。 ・大学院生の国際学会派遣 研究院長裁量経費により大学院生を競争的環境で国際学会に派遣し、発表および討議を行わせた。(個々の指導教員の研究経費による国際学会派遣も頻繁に行われている。) ・JICA教育への参画 歯学において唯一採択されているJICAプログラム(歯学教育)に学生を参画させ国際性を習得させてきた。 			
<p>5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組及び意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画について)</p> <p>九州大学大学院歯学研究院においては<A:歯学研究リーダー>と<B:臨床歯学リーダー>の両者を育成する必要がある。いずれの育成にも①基盤的専門知識、②高い倫理観、強い責任感と積極性、③国際討議能力、④企画立案運営能力、が必須要素であるが、歯学研究リーダーにとって必要な基盤的専門知識が<深い学識と極めて高い独創性>であるのに対し、臨床歯学リーダーにとって必要な基盤的専門知識は<Evidence Based Medicineをベースに新しい治療方法を導入普及させる能力>であるため、①基盤的専門知識教育においては両者を区分して教育を行うことが必要である。また、①～④の教育要素に対する学習意欲を惹起するために大学院教育に(I)<u>競争的環境</u>と(II)<u>大学院が研究などのプロジェクトを主導できる環境</u>を構築する必要がある。</p> <p>本教育プログラムにおいては、これまでにも行ってきた①基盤的専門知識教育を育成目標に区分して発展させる。また、外国人研究者の招聘や国際学会へ派遣等により、飛躍的に③国際討議能力を増進させるとともに、シンポジウム開催や競争的研究プロジェクトを大学院生に主導的立場で参画させ④企画立案運営能力を育成する。また、必修科目としての倫理教育だけでなく、これらのプロジェクトに主導的立場で参画させることにより②高い倫理観、強い責任感と積極性を育成する。</p> <p>本教育プログラムにおいては設備購入を一切行わず、人材教育に焦点をあてたものであるため、プログラムが修了した段階で優れた人材が育成できることが予想される。</p>			

6. 履修プロセスの概念図

歯学国際指導者の育成

国際討議能力

企画立案運営能力

基盤的専門知識

高い倫理観、強い責任感と積極性

若手研究者・若手臨床家育成事業への継続と連携

連携

大学院教育

連携

学部教育

歯学研究指導者へ

博士(歯学)
博士(学術)

臨床歯学指導者へ

博士(臨床歯学)
博士(歯学)

歯学研究
基盤的専門知識

臨床歯学
基盤的専門知識

プロセス管理

教務委員会
研究戦略委員会
将来計画検討委員会

企画立案運営能力

創造性と実行能力

競争的環境

国際討議能力

語学力と討議力

歯学倫理教育

講義と体感

本邦で唯一の歯学系JAICA
18年間で47ヶ国
204名の研修生

九州大学教育憲章

抜粋および要約

目的：本邦および世界の
リーダーの輩出

原則：国際性の原則
専門性の原則

WebBased Training
(マルチメディア室、パソコン80台)
少人数教育
(チューリアル室 5室)
釜山大学との相互訪問
臨床英語
リサーチスポンジ

機 関 名	九州大学	整理番号	c013
<p data-bbox="165 199 588 232">< 審査結果の概要及び採択理由 ></p> <p data-bbox="165 293 1428 472">「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化（教育の課程の組織的な展開の強化）を推進することを目的としています。</p> <p data-bbox="189 488 491 521">本事業の趣旨に照らし、</p> <p data-bbox="189 533 1428 613">①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか</p> <p data-bbox="189 629 1225 663">②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか</p> <p data-bbox="165 678 1428 857">の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が、優れており、期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に適合しており、その実現性、一定の成果と今後の展開の面も期待できると判断され、採択となりました。なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。</p> <p data-bbox="177 918 635 952">〔特に優れた点、改善を要する点等〕</p> <ul data-bbox="172 967 1428 1146" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="172 967 1428 1102">・「歯学国際リーダーの育成」として「歯学研究リーダー」と「臨床歯学リーダー」の両者の育成を目指すという目的が明確であり、国際的に活躍できる人材育成のために、外国語による討議能力を高める教育体制の確立に重点が置かれている点は高く評価できる。 <li data-bbox="172 1113 1321 1146">・しかし、実現に向けて、カリキュラム等について、更なる具体化への工夫が必要である。 			